

司書便り

2024年11月発行
学校司書 大槻 順子

図書室利用案内

開館時間: 平日 13:10~13:25(昼休み)
放課後開館: 月・木 清掃終了後~16:50
貸出: 3冊 2週間
返却について: 図書室脇に設置のブックポストに返却可能
司書在室日: 月・木 10:00~17:00

新刊が入荷しました!

「推し」は身を亡ぼす

「成功したオタク日記」 オ・セヨン著/926 オ

推しに認知され、界限でも有名になった“成功したオタク”だったセヨン。ところが推しである
チョン・ジュニョンが大規模な性犯罪事件の首謀者として逮捕されてしまう。

14歳から本気で推して、サインに「ソウルの大学に進学して、もっと俺に会いに来て!」と書
いてくれたから必死で受験して進学も果たしたのに…

どうあがいても静まらない心をなだめるために、セヨンはカメラを構えて同じ沼の友人たち
を訪ね歩き、苦しい心の裡を語りあい、一本の映画として編集する。

P. 107からのインタビューが読みやすいですよ!

*事件の詳しい背景→ 「n番部屋を燃やし尽くせ」 926 ツイ

*推し活について→ 「人類にとって推しとは何なのか」 914 ヨコ

2024年 秋季入荷新刊一覧

分類

番号 書名

007 熊とワルツを
 070 言論統制というビジネス
 146 わたしが「わたし」を助けに行こう
 147 教養としての最恐怪談
 147 樹海怪談
 147 ニッポン怪物件
 147 シンスポ
 159 「怠惰」なんて存在しない
 160 信じない人のための〈宗教〉講義
 312 「モディ化」するインド
 316 言論統制
 336 BIG THINGS
 336 性格が合わないんじゃないなくて話がかみ合っていないから
 361 ルポ新大久保
 364 15歳からの社会保障
 372 その問いは誰のものか
 377 赤と青のガウン
 388 怪奇不思議日本全国都市伝説
 389 われらみな食人種(カニバル)
 410 一度読んだら絶対に忘れない数学の教科書
 470 雑草はなぜそこに生えているのか
 474 菌類の隠れた王国
 480 世界をめぐる動物園・水族館コンサルタントの想定外な日々
 480 水族館飼育員のキッカイな日常
 481 はたらく土の虫
 481 足もとの楽園ちっちゃな生き物たち
 484 神秘なるオクトパスの世界
 485 ザトウムシ

493 読めない人が「読む」世界
 497 ちゃんと歯磨きしているのに、むし歯になるのはどうして?
 497 新しい歯の教科書
 498 孤独の本質つながりの力
 498 そして、「悪魔」が語りだす
 510 かわいい土木見つけ旅
 520 廃墟マニアックス!廃界本
 626 おひとり農業
 653 枯木ワンダーランド
 726 ドクロ
 778 ママが死んでよかった
 780 考えて鍛える筋トレ図鑑
 810 イタリア女子が沼ったジワる日本語
 913 ほうかごがかり
 913 呪詛を受信しました
 913 よるのばけもの
 913 一ノ瀬ユウナが浮いている
 913 祓い師笹目とウツログサ
 913 風は山から吹いている
 913 ミステリーなスイーツ
 913 プラスティック
 913 風に恋う
 913 さよなら、灰色の世界
 913 境界のメロディ
 913 感傷ファンタスマゴリイ
 913 クローゼットファイル
 913 逆行探偵
 913 九人のレジェンドと愚か者が一人
 913 こまどりたちが歌うなら
 913 #90秒で恋がしたい
 913 あやふやで、不確かな
 913 二人目の私が夜歩く
 913 ぬくもりの旋律
 913 蝋燭は燃えているか
 913 動物哲学物語確かなりスの不確かさ
 913 あきらめる
 913 スクリーン

913 かぎろいの島
913 私の死体を探してください。
913 コンブルックス
913 教祖の作りかた
913 ロジカ・ドラマチカ
913 お前の死因にとびきりの恐怖を
913 無限の王
913 あるいは誰かのユーウツ
913 明智恭介の奔走
913 斬首の森
913 完本神坐す山の物語
913 海のなかの観覧車
913 嘘つき姫
913 ノイエ・ハイマート
913 かわいなくて
913 風に立つ
913 ひみつの相関図ノート
913 ヒカリノオト
913 なんてでも生まれる
913 もしもわたしがあの子なら
913 夜と跳ぶ
913 翼をもたない私たちは、それでも空を
飛びたかった。
913 猫と罰
913 フェイクドキュメンタリーQ
913 さよならの向う側
913 わたしは食べるのが下手
913 girls
913 コゴロシムラ
914 コーヒーにミルクを入れるような愛
914 私だけの水槽
914 ある翻訳家の取り憑かれた日常
914 踊る幽霊
914 文化の脱走兵
924 成功したオタク日記
929 不便なコンビニ
933 スイマーズ
933 七月の波をつかまえて

936 異常殺人
943 ある晴れたXデーに
980 ロシア文学の教室

※本文紹介の本は網掛けで表示

今年だけじゃない、これからも ずっと暑すぎる夏！

「気候崩壊後の人類大移動」 ガイア・ヴィンス著 519

“今後、冷房の効いた室内にこもって活動は夜中に限定すれば、あるいは強力な冷却服で身を守れば、暑さをしのぐのも不可能ではない”

しかし、エネルギーや水にかかる膨大なコストを負担できる人々は限られてくる。

「おひとり農業」 岡本よりたか著 626

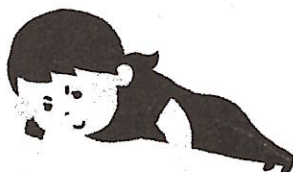
”生き抜くための「買う」から「つくる」へ“

ホームセンターから種や肥料ましてや土を買うのでは、食糧危機には対応できません。野菜の身はなにからできているのか？から考える、ひとりでできる農業の解説。

「大地の五憶年」 藤井一至著 613

地表は五憶年の時をかけて、今いる生物が暮らしやすいように変化してきた。ところが、1900年代から始まった人間の活動が、栄養満点の地面をあっという間に生き物の住めない砂地に変えようとしている。

地面の下の自然を考えることは、人間という種の生命を考えることにも繋がっている。



「考えて鍛える筋トレ図鑑」 780

生き抜くためには一に体力、二に筋肉！

図示で鍛えたい筋肉に効果的にアピール。解れないコリのストレッチにも！

